

Japan
Dietetic
Association
|
Disaster
Assistance
Team

JDA-DAT

日本栄養士会災害支援チーム



東日本大震災をきっかけに、大規模自然災害発生時、迅速に被災地での栄養・食生活支援活動を行うため、2012年に「日本栄養士会災害支援チーム JDA-DAT：The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team」を設立しました。

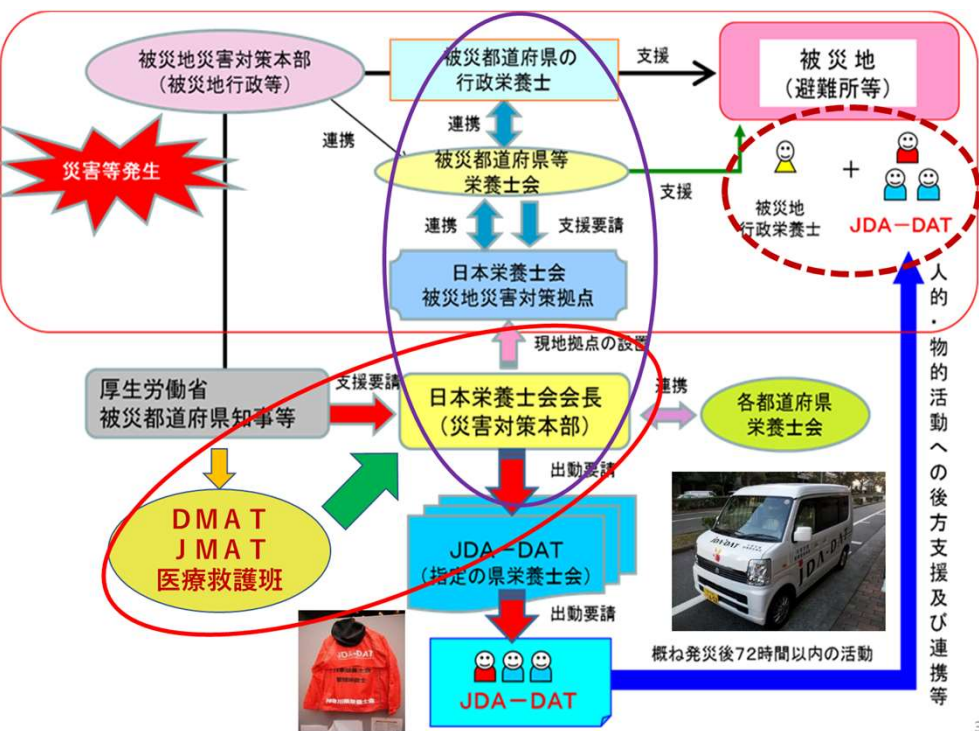
国内外で大規模災害が発生した地域において、避難所、施設、自宅、仮設住宅等で被災者に対する栄養に関する支援活動ができる専門的なトレーニングを受けた栄養支援チームです。



JDA-DAT 支援活動イメージ

災害発生時、JDA-DATは、被災地の行政や栄養士会からの要請、厚生労働省・DMATからの協力依頼等を受けて、日本栄養士会災害対策本部等からの派遣調整のもと現地に向かい、原則として被災地行政栄養士の指揮下で活動を行います。

東日本大震災における支援活動後、JDA-DATは、これまでに関東東北豪雨災害、熊本地震、大阪北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震、令和元年度の台風の災害等で支援活動を行ってきました。また、平時には防災訓練への参画や赤ちゃん防災プロジェクトにおいて備蓄の推進等に取り組んでいます。



日本栄養士会ではJDA-DATリーダーの育成を、都道府県栄養士会では、JDA-DATスタッフの育成をすすめる他、各自治体と災害時の医療救護活動等への協力のための災害協定の締結をすすめています。また、有事に備え一部の特殊栄養食品を備蓄しています。

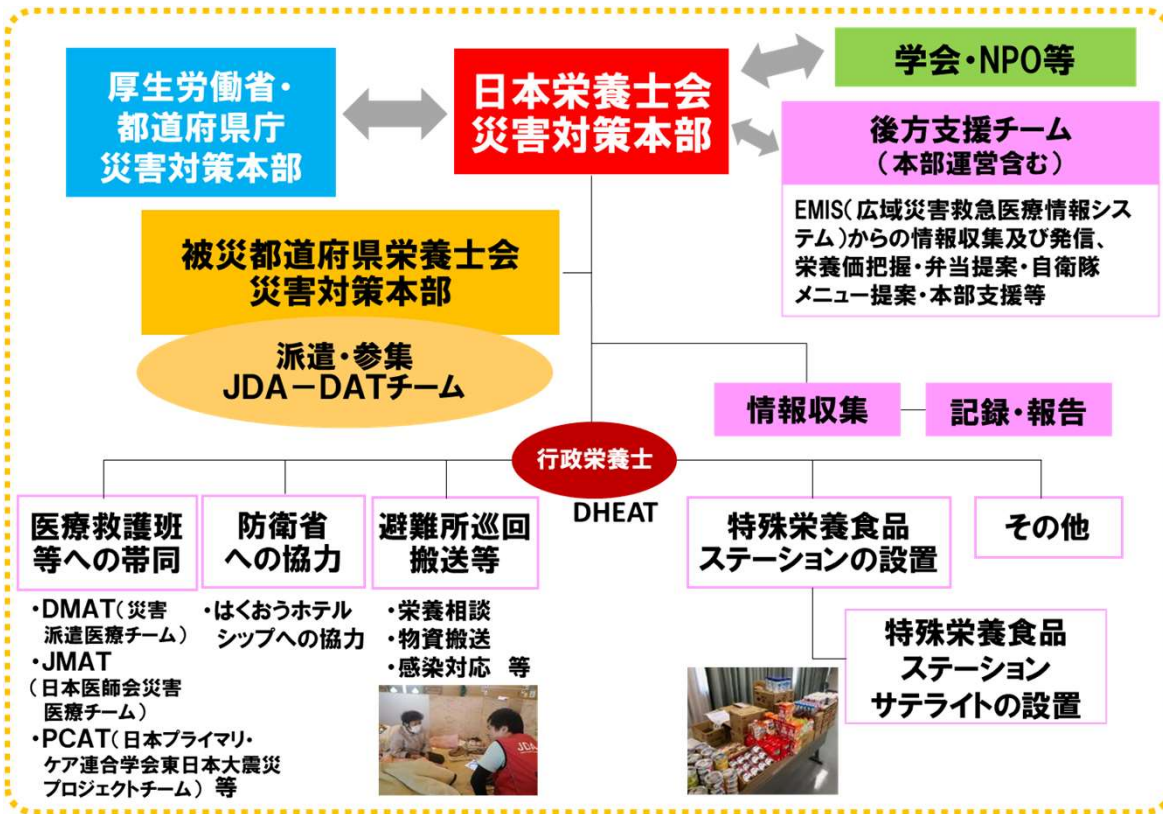


特殊栄養食品ステーション (例)

全国のJDA-DAT
 リーダー及びスタッフ
 約**3,800**名

2021年3月末現在





医療救護班等への帯同や避難所を巡回し、避難所の栄養調査や栄養相談の実施、衛生管理、支援物資の調達や搬送、要配慮者が必要とする特殊栄養食品(母乳代替食品、離乳食、食物アレルギー対応食、濃厚流動食、経管栄養剤、介護食、とろみ剤、低タンパク質食など)を提供するため、被災地内に特殊栄養食品ステーションの設置等様々な支援活動を行います。また、現地での直接的な活動だけでなく、被災地外で被災地の情報を収集し、分析して対応を発信するなど、後方支援を行うチームも活動します。

平時には...



地域で開催される防災イベントや防災普及活動などを行っています。



全国を巡る～災害支援緊急車両「JDA-DAT号」

災害時にはスタッフの移動手段として、また特殊栄養食品等を搬送、平時には搭載しているキッチンボックスを活用しパッキングの実演等、防災イベント等で広報活動を行っています。



JDA-DAT号には、キッチンボックス搭載の車両や電源供給可能なJDA-DATトースト号(PHEV)を配備しています。

お問い合わせはこちら

公益社団法人 日本栄養士会 JDA-DAT担当
Tel : 03-5425-6555
Mail : jdadat@dietitian.or.jp

詳細は日本栄養士会ホームページへ
<https://www.dietitian.or.jp/jdadat/>

